

令和2年度 障害者作業所 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市障害者作業所
所在地	今治市菊間町長坂2001番地
指定管理者	<p>名称 特定非営利活動法人 作業所こまどり</p> <p>代表者 理事長 松田鈴美</p> <p>住所 今治市菊間町長坂2001番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougai Fukusi@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	スタッフが少人数のため、目的や方針をしっかりと共有できている。	A	同じ職員が長年に渡り継続して管理運営に携わっているため、施設の目的や管理運営の基本方針について十分理解しています。
利用状況	B	コロナ禍の中であったが施設見学者を随時受け入れ利用者数の増加へ向けて活動を行ったが、居住地からの通所に時間がかかり、また、送迎もできないため利用者数の増加には繋がっていない。	B	利用者一人一人の状況に応じた細やかな対応により、作業内容も考慮されています。しかし、利用者が固定化されており、新規利用者の獲得が必要です。
事業収支	A	コロナ禍で自主事業による収入が減少したが、研修旅行や遠足が中止となったため、支出も減少した。	A	コロナ禍で、羊の毛刈りイベントなどの自主事業が中止の中でありながら、プラス収支になっています。引き続き安定した運営をお願いします。
管理運営体制	B	管理運営業務を実施するための人員を配置できている。職員と役員のミーティングは月1回、職員同士のミーティングは毎日行っている。障がい者の雇用はない。	B	人員配置は仕様書に沿って適正な配置ができています。難しい作業についてはスタッフや職員が利用者をサポートしながら質の高い製品作りに取り組んでいます。これからも、外部の企業・団体と連携し、新たな商品開発や障がい者への対応・制度の知識向上に取り組んでください。
管理運営業務	A	清掃作業や日常点検など、日頃より適切に行っている。	A	仕様書に定められた基準により、適切に管理できています。物品が多い中、利用者と職員が協力し、整理整頓や清掃に取り組んでいます。
利用業務	B	バザー等が中止となり、広報活動が困難であった。しかし見学者の増加で口コミでの広がりはある。	C	利用者への指導体制について現状は適切に運営できているが、将来を見据えた場合に不安を残します。適切な時期に、次世代への技術伝承ができる体制作りが必要です。
その他業務	A	事故対応及び防災マニュアルは整備されている。個人情報マニュアルについても同じ。	B	各種マニュアルは適正に整備されており、警報発令時においても利用者の送迎や連絡体制も迅速に執り行われています。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
修繕業務	A	施設は日々点検しており、修繕箇所を発見次第速やかに対応している。	B	施設建物はまだ新しいため、新たな修繕は発生していません。利用者・職員が目配りして修繕箇所の早期発見に努めてください。
備品管理業務	A	備品は常に同じ場所へ戻すように、適切に管理をしている。	A	今年度は新たな備品購入はありませんでした。備品の状態確認などが適正に行われています。
行政財産の目的外使用許可手続業務		対象外		対象外
自主事業	A	対外的な活動はできなかったが、誕生会や調理実習等、メンバー同士の交流は予定通り行った。	A	コロナ禍で毎年恒例の羊の毛刈り大会や各種イベントが中止となりましたが、新たな販路拡大や化学染めの研修参加など、新規事業にも積極的に取り組んでいます。また、市から委託を受けている小ヶ丸広場清掃により社会貢献活動も果たせています。医療機関との連携により利用者の体調管理にも配慮できています。引き続き、関係機関や地域との連携に取り組んでください。
地域団体との連携	A	職場実習生(中学生)の受入、小学校特別支援学級スタッフの見学受入は行うことができました。	A	地元の小中学校からの見学者・スタッフの見学者受け入れなど、地元と密着した運営ができています。中止となった羊の毛刈り大会には、学生や各種団体などから大会実施に向けたサポートの申し出があるなど、長年の活動により支援者の輪が広がりを見せています。
利用者アンケート	A	少人数でもあり、毎回同じような内容であるが、アンケート実施時にかかわらず普段から保護者との意見交換は十分にできていると思う。	B	アンケート結果は概ね良好です。普段からスタッフと利用者・保護者が良好な関係を構築しているからだと思います。コロナ禍によりイベント実施が困難な時期ではありますが、複数回アンケートを実施するなど利用者の潜在的な意見集約に努めてください。
事故・苦情	A	苦情や事故は発生しなかった。	A	警報発令時の自宅までの送迎や閉館時の迅速な連絡により、事故や苦情はなく適切な運営ができています。引き続き安全安心な事業運営を心がけてください。
指定管理者の経営状態			貸借対照表等においては法令及び定款に従い、適切に法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

## 総合コメント(市)

平成23年度より、今治市地域活動支援センター運営事業補助金交付要綱による補助金を活用し運営されています。他の作業所では見られない独自の作業(羊の育成、羊毛、綿花の採取から製品加工、展示販売までの一連の流れ)を行うほか、藍染めや木工、織り、タオルの袋詰め、公園清掃を実施しています。また、今年度はコロナ禍により中止となりましたが、自分たちからも地域へ羊の毛刈り大会を開催することで、情報発信しています。市外、県外から問い合わせや視察、情報交換など作業所や障がい者団体との交流が図られており、各所から注目される施設となっています。施設利用について、利用者が固定され健康状態により通所回数が減る中で新規の利用者の獲得が課題となっています。また、利用者の安全のため、作業のしやすい環境整備のため、日頃からの清掃、整理整頓について配慮が必要です。